

any

ars nova yamaguchi

「エニー」

autumn 2014
Oct.—Dec.

90

特集 オフィス300公演

「天使猫

—宮澤賢治の生き方—」

劇作家・渡辺えりが描く
宮澤賢治の生き様

天使猫
—宮澤賢治の生き方—



特集

03 劇作家・渡辺えりが描く
宮澤賢治の生き様

オフィス300公演

「天使猫—宮澤賢治の生き方—」

ピックアップイベント

08 この秋、アートで色づく

山口情報芸術センター

リサーチ成果展示

ムン・キョンウォン「プロミス・パーク・プロジェクト」

未来の公園の姿をリアルに描く

チェルフィッチュ「地面と床」

演劇界をリードする岡田利規の新作

中原中也記念館

中原中也記念館 開館20周年記念事業

YCAM コラボレーション企画

「中原中也 歩みのリズム —〈僕は街なぞ歩いてみました〉」

歩き続けた詩人、中原中也

中原中也記念館 開館20周年記念事業

映画で知る中原中也

映画と詩の意外な関係に迫る

山口市民会館

ディズニー・オン・クラシック ～まほうの夜の音楽会 2014

音楽と映像で映画の感動がよみがえる

カンパニー・フィリップ・ジャンティ「忘れな草」

魔法にかかりにいらっしやい

12 any 通信

◎アーティストボイス 安藤洋子 (ダンサー・振付家)

◎お先に試写しました 「野のななのか」

◎いらっしやいませ トラットリア・アンコーラ

◎GOOD GOODS YCAM オリジナルTシャツ

◎My Favorite 中崎 真子 (中原中也記念館 職員)

14 イベントカレンダー 10～12月

INFORMATION

劇作家・ 渡辺えりが描く 宮澤賢治の 生き様

観る者を圧倒する役者としての表現力はもちろんのこと、
劇作家・演出家としてもその才能を高く評価される渡辺えり。
この秋、山口で上演される渡辺えり作・演出の舞台「天使猫—宮澤賢治の生き方—」は、
宮澤賢治の半生を描き、賢治の童話の言葉をちりばめた音楽劇です。
賢治の作品世界と、彼の生きた実世界、2つの時空を
自由に行き来する渡辺えり独自の手法で、宮澤賢治の作品の世界観を
見事に浮かび上がらせた本作は、2012年の初演で大きな反響を呼び、
今年ついに全国9都市での再演が決定しました。

「天使猫—宮澤賢治の生き方—」





天使猫

—宮澤賢治の生き方—

◎あらすじ 東北の瓦礫の中。少女トシが黒い背表紙の童話の本を開くとそこから小さな星が生まれます。星はホタルのようにどこかに飛んでゆき、いくつかは空の星になり、いくつかは海のヒトデとなりました。兄のケンジがトシを探しにやってくる。猫というあだ名の真つ白なフクロウが現れます。羽の生えたこの猫の名は「天使猫」。兄妹が本当に行きたいのに行けない場所にもぐり込んでトシを探しにやってくる。猫というあだ名の真つ白なフクロウが現れます。羽の生えたこの猫の名は「天使猫」。兄妹が本昭和30年頃、ケンジの弟清六が「猫」そっくりの紳士鍋島と、今は亡きケンジに思いを馳せていると、鍋島が持ってきたトランクから、若き日のケンジと農学校の生徒たちが現れ、「種山ヶ原の夜の積古をし始めるのでした。『天使猫』に誘われ、ケンジの描いた物語と現実を行き来しながら、清六はケンジのたどってきた道を思い出し、いくつか

11月の山口での上演に先駆け、去る8月、渡辺えりさんにお会いしてお話を伺うことができました。舞台を通して生きてくる宮澤賢治の生き様は、演劇人として生きる渡辺えりの強くまっすぐな生き様と重なってきます。

まずは、この「天使猫」を作ろうと思ったきっかけを教えてください。

「天使猫」は、震災と原発事故が起こった後に書いた作品です。自分は東北人ということもあり、もっと東北のことを書かないといけないと思ったんです。というのも、あまりにも東北のことが東京で知られていない。どこか夢物語で、遠いところで起こっていることにしか思っていない。でも、東北に住んでいる人も同じ人間です。ひどいことにたくさんあってもがまんしている人たちがばかり。その東北のことをもっともっと知ってもらいたい。それにはやはり、東北の岩手・花巻の出身である宮澤賢治のことを描くのがふさわしいと思ったんです。宮澤賢治は明治三陸大津波の年(明治29年)に生まれ、昭和三陸大津波の年(昭和8年)に死んでいます。賢治は被災した人たちの惨しい遺体の写真を見て育ち、父親の影響で5歳の時には御経をそらんじることができたといいます。少年の頃「私は百姓のために死のう」と親友と決意したのは、飢饉による餓死や度重なる自然災害により苦しめられる農民たちを何としても救いたいという賢治の強い思いがあったからです。その賢治について描いたこの作品を、震災が風化する前に、そして決して風化しないように、できるだけ多くの方に見ていただきたい。そのためにもぜひ作品を再演して、全国を回ろうと思ったのです。

宮澤賢治の文章力のすごさを感じるのは彼の詩を読んだ時ですね。

渡辺さんにとって宮澤賢治の作品の魅力はどこにあると感じていますか？

宮澤賢治の作品はたくさんあって、それぞれに違った魅力があるので一概にこうとは言いきれませんが、私は「春と修羅」など彼の詩に惹かれています。いま現代詩を書いている人たちの原点になっているんじゃないでしょうか。宮澤賢治の詩の影響をみんな受けているように思いますね。賢治はリアルな詩も書けど、神話からとった作品もあるし、自分の心情を吐露したようなシュールな詩もあれば、分かりやすい日記のような詩もあります。だから、宮澤賢治の文章力のすごさを感じるのは彼の詩を読んだ時ですね。

今回、物語の中では、宮澤賢治のいくつかの作品世界の登場人物が登場します。宮澤賢治の世界観をあらかじめ知っていた方がよりお芝居を楽しめますか？

劇中で登場するのは、宮澤賢治の作品の中でも「銀河鉄道の夜」「林の底」「貝の火」「チュウリップの幻術」といった、どれも有名な物語ばかりで、知っている方は多いかと思いますが、もちろん原作が分からなくても楽しめる内容になっています。宮澤賢治の原作とはまったく違うものになっています。

新たなキャスティングによって、まったく違う雰囲気のものになると思います。

出演される役者さんがとても魅力的な方々ばかりですね。

この再演では初演時とキャストが大きく変わりました。新しいキャストの個性によって、またまったく違う雰囲気のものになると思います。いま稽古がすでに始まっていますが、かなりおもしろいものになる

と感じています。以前手塚とおるさんが演じられた「天使猫」や「保阪嘉内」役は、グロテスクなもの…、小説であるとか、戦争であるとか、津波であるとか、そういった大きな孤独な概念のような部分が強く出ていましたが、今回大沢健さんに変ったことでもう少しロマンティックな要素が加わります。賢治にとって精神的な親友だとも言われていた「保阪嘉内」は、大沢さんが演じることで、同性愛的な部分が強調されて、エロティックでファンタジーな部分がより強くなるんじゃないかと思っています。

賢治の妹「トシ」などを演じられていた馬淵英俚可さんが、大和田美帆さんに変わられたことでの変化といえば、もっとダイナミックになると思います。トシは結核で若くして亡くなってしまったために、かわいそうという印象をみなさん持たれています。でも、本来はとても強い人なんです。岩手県で初めて女学校に通った才女であり、オルガンも上手で学校の先生もしていました。文章力もあってユーモアもある人。女性差別がある時代にも関わらず大変尊敬されていた人です。そんなトシ本来の強さが今回は見えてくると思います。

賢治の思いを通して、東北のことをもっと知ってもらいたい。



photo: 渡辺慎一

わかる！キーワード

【オフィス300(さんじゅうまる)】 舞台芸術学院の仲間とともに劇団200結成。その後、劇団300、企画集団宇宙堂を経て、現在オフィス300と改名し、活動を続ける。演劇だけに終わらず、ライブやお茶会等も企画し、観客との交流の場を設けて、次世代の演劇空間の創造を目指している。

出演者プロフィール

大沢 健

OSAWA Ken
【天使猫】での配役】猫、保阪嘉内、きつね、生徒B、紳士
1974年生まれ。東京都出身。映像、舞台を問わずその演技力には定評がある。主な出演作品に、テレビドラマ「二人の軍師」(テレビ東京)、「梅ちゃん先生」(NHK)、映画「嵐が丘」、「ぼくらの七日間戦争」、「ファンシィダンス」、「サムライフィクション」、舞台「常陸坊海尊」、「約30のウソ」など多数。



大和田美帆

OWADA Miho
【天使猫】での配役】トシ、ひばりの母、山猫、ヤス
東京都出身。2003年、ミュージカル「PURE LOVE」で、デビュー。高い歌唱力と表現力で、舞台を中心に、ドラマ、映画、CM、バラエティーなど、幅広く活躍中。08年に、鶴川幸雄演出の音楽劇「ガラスの仮面」において、全国オーディションでヒロインの北島マヤ役を見事に射止め、その確かな演技力で高い評価を得た。



谷川昭一郎

TANIGAWA Syoichiro
【天使猫】での配役】信夫、校長、うさぎの父、生徒A、別当、政次郎
1966年生まれ。熊本県出身。90年より劇団東京乾電池に入団。94年には演劇ユニット「プリセタ」を旗揚げし、現在も活動中。独特な存在感で活躍の幅を広げている。出演作に、映画「シコふんじゃった」「腑抜けども、悲しみの愛を見せる」「桜田門外の変」「のぼうの城」、テレビドラマ「坂の上の雲」(NHK)など。



土屋良太

TSUCHIYA Ryota
【天使猫】での配役】宮澤賢治
1967年生まれ。新潟県出身。93年劇団3〇〇に入団。以降「赤い靴」「りぼん」「ケケケのげ」「天使猫」などに出演し、主要なメンバーとして活躍。他に、二兎社「萩家の三姉妹」「新・明暗」、加藤健一事務所「木の血」「シュベリオールドーナツ」、子供のためのシェイクスピア「十二夜」「シンペリン」、NODA MAP「オイル」などにも出演。場を広げている。



宇梶剛士

UKAJI Takashi
【天使猫】での配役】清六、岩手山舞台のみならずドラマや映画、バラエティ番組など幅広く活躍する一方、自身による劇団「PATHOS PACK」では脚本や演出も務める。近年の主な出演作は、ドラマ「ストロベリーナイト」(CX)、「鍵のかかった部屋」(CX)、「半沢直樹」(TBS)、映画「ワイルド7」、舞台500歳の会「いつか見た男たち〜ヴェネシス〜」など。



宇梶剛士さんは初演から出演していたでいます。彼には、これまで「1の1の6」や「クレヨンノ島」などいくつかの作品に出ていただいています、今回久しぶりのご出演です。それも、こちらからオファーしたのではなく、「こういう内容の作品なら、どうしても出たい!」、彼の方から言ってくれて、共演が実現しました。

見どころはどのシーンでしょうか?

役者たちが自分たちで楽器を持って出て生演奏するシーンがありますし、また岩手県の踊りである鬼剣舞をみんなで踊るシーンがあります。とくに踊りは、わざわざ岩手県にみんなで行き、地元の方に指導を受けてきました。宮澤賢治が生前好きだった踊りがこの鬼剣舞だったんです。鬼剣舞を踊る場面は、賢治が亡くなる前に見る幻想風景のシーンに登場しますが、ここで観客の方々は感動してくださって、初演時はみなさん泣いておられました。鬼のお面をつけ、刀を腰に差して踊るのですが、東北の人たちが外敵から身を守るために始めた踊りだと言われています。日照りがあったり、津波が起こったり、大地と戦う農民の姿をあらわしているんです。

昔の文筆家たちがこもって執筆していたことで有名な「山の上ホテル」で書きました。

普段、どういう場所で創作を書かれていますか?

最近では実家のある山形に戻って書いていますね。東京にいと電話がしょっちゅうかかってきて仕事が止まってしまうので、この「天使猫」は東京にある「山の上ホテル」で書きました。ここは、三島由紀夫や池波正太郎、遠藤周作、寺山修司といった昔の文筆家たちが部屋にこもり、そこに編集者が待機して原稿を待っていたことで有名なホテルで、私は池波正太郎が指定して使っていたといわれる部屋がちょうど空いていたので、そこに3

誰かの助けがあって自分は生かされているんだということのありがたさがだんだんと分かってくるようになる。そうするとそれを社会に返さなければという思いがでてきます。それが私の場合は演劇なんです。

日間くらい泊まり、「天使猫」の大枠と前半部分を書き上げました。作家の気が飛んでいるような気がして、筆が進みます。思い込みなんでしょうけど(笑)。でも、さすがに途中行き詰った時があって、たまたまテレビをつけて見ていたら、NHKスペシャルで「マリア・テレジア」の特集をやっていたんです。それがおもしろくてはまっちゃって。18世紀オーストリアを統治した女帝マリア・テレジアのことをもっと知りたくて、こないだもウィーンにまで行ってしまいました(笑)。「天使猫」の作品の中にもマリア・テレジアの要素がちょっと入っていますよ。

photo: 渡辺慎一



渡辺えり WATANABE Eri 【天使猫】での配役】絹江、ホモイ、イチ

1955年生まれ。山形県出身。舞台芸術学院、青俳演出部を経て、78年より「劇団3〇〇」を20年間主宰。解散まで、劇作家・演出家・女優として、多くの話題作を発表する。83年「ゲゲゲのげー達魔が時に揺れるブランコ」で第27回岸田戯曲賞受賞、87年「嘘の女—ただ見ぬ海からの手紙」で第22回紀伊國屋演劇賞個人賞受賞。その後、舞台だけでなく、ドラマ、映画、エッセイなどの執筆活動、コンサート、情報番組でコメンテーターを務めるなど、活躍の場を広げている。2013年は、震災後の東北への思いを込めた新作戯曲、音楽劇「あかい壁の家」を東京他全国各地で上演。また、NHK連続テレビ小説「あまちゃん」に出演し人気を高めている。

女優として役を演じること、舞台全体を見ながら演出を考えていくことを同時にやらないといけないというのは、切り替えが大変ではないですか?

いえ、私は小学校の頃からお誕生会の演出や、学校のお芝居の演出をやっているのです、大変なことではなく、むしろ普通なこととして、自然体でいつもやっていますね。

小学生の頃から!? では、人生のなかで演劇と関わられている時間がとても長いですね。

シェイクスピアの言葉じゃないですけど、「人生はみなまわり舞台」なんじゃないですか。本当の自分がどこにいて誰なのかいまだにつかめていない状況ですね。

演劇作品を作りながら人生を探している、ということでしょうか?

探しきれないまま終わっちゃうんじゃないでしょうかね。生まれてからこれまで、自分が何ものか分からないまま人生を演じているような気がします。いま、戦争がまた始まるんじゃないかと心配しています。断固戦争は阻止したい。

でも簡単にできることではないので、こうやって芝居で徐々に訴えていくしかないなど、かなり追い詰められた気持ちになっています。昭和30年代生まれの私は、自分たちの上に、社会闘争が激しかった時代の人たちがいて、後には“しらけ世代”といわれる世代がいて、自分はちょうどそのはざまの世代なんですね。だから熱くもなれず、冷めることもない、どっちつかずで…。本当は家に帰って寝ていたいという気持ちが一番強いんだけど、そうしたらなんだかバチが当たるんじゃないだろうか、そんな追い立てられるような気持ちがあって、責任感に突き動かされてやっているんですね。それじゃ駄目だろうと、自分を叱咤激励しながら追い込んで追いつめてやっているのが演劇ですね。自分一人では生きていけないということが、歳を重ねれば強く感じられるようになるものです。誰かの助けがあって自分は生きている、生かされているんだと。そのことのありがたさがだんだんと分かってくるようになる。そうするとそれを社会に返さなければという思いがでてきます。それが私の場合は演劇なんです。

オフィス3〇〇公演 「天使猫」 —宮澤賢治の生き方—

2014年11月8日(土)・9日(日)
両日14:00開演 (各30分前開演)
会場:山口情報芸術センター スタジオA

【料金】全席指定 ※未就学児入場不可
前売 一般5,000円
any会員・特別割引・25歳以下4,500円
当日 5,500円
【作・演出】渡辺えり
【出演】大沢 健、大和田美帆、谷川昭一郎、土屋良太、宇梶剛士、渡辺えり ほか

PRESENT

本特集でご紹介した、オフィス3〇〇公演「天使猫—宮澤賢治の生き方—」の公演チケットやグッズをプレゼントします。

【申込方法】ご希望の方は下記のプレゼント番号を(Ⓐの場合は鑑賞希望日も)明記の上、住所・氏名・年齢・電話番号・e-mail等の連絡先、今号の「any」の感想をご記入の上、10月31日(金)までにハガキ(当日消印有効)・FAX・e-mailでご応募ください。

Ⓐ オフィス3〇〇公演 「天使猫—宮澤賢治の生き方—」 公演チケット(11/8、9両日ペア2組)

Ⓑ 「天使猫—宮澤賢治の生き方—」 公演パンフレット(1名) **サイン付!**

Ⓒ DVD「2014年渡辺えり ドラマチックコンサート」(1名)



Ⓓ オフィス3〇〇 オリジナル てぬぐい(2名)



【あて先】〒753-0075 山口市中国町7-7 (公財)山口市文化振興財団 「any vol.90 特集プレゼント」係 FAX:083-901-2216 e-mail:any@yfcf.or.jp ※当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。



- ◎アジアのアーティストによるライブはすごく貴重な体験だった。(20代男性 「sound tectonics#14」より)
- ◎とても懐かしく学生時代を思い出しました。気持ちが少し若くなって帰れます。(50代女性 「なごみーず」より)
- ◎中にも影響を与えた詩人・中也が影響を与えた詩人が、どういった方々なのかとてもよく分かりました。(40代女性 「中原中也と日本の詩」より)
- ◎自由な感じで良かった。別世界に入り込んだようで気分もリフレッシュできました。(40代女性 「sound tectonics#14」より)



- ◎草野心平や宮沢賢治との関わりを知ることができたのは新鮮だった。2人と中也の詩世界とかなり様相を異にしている、相容れないところが多いイメージだったので。(30代男性 「中原中也と日本の詩」より)
- ◎なごみーずの言われの通り、大変なごみ、楽しい一時を過ごせました。(50代女性 「なごみーず」より)
- ◎外国語に訳そうとすることでより深く詩の意味合いや言葉の選ばれた意味が見えてくるのだと感じました。(30代女性 「中原中也詩英訳パネルディスカッション」より)



「ディズニー・オン・クラシック」
ステージ写真は過去の公演です



アント・ハンブトン+ティム・エッチェルス「The Quiet Volume」
©Lorena Fernandez



チェルフィッチュ「地面と床」©Hirohisa Koike

P I C K U P E V E N T ! A U T U M N 2 0 1 4
ピックアップイベント

山口情報芸術センター (YCAM)

http://www.ycam.jp/

リサーチ成果展示

ムン・キョンウォン「プロミス・パーク・プロジェクト」

2014年11月1日(土)～2015年1月11日(日) 10:00～19:00

会場: ホワイト

未来の公園の姿をリアルに描く

建築家、景観設計家、植物学者、メディアリサーチャーとともに、過去から未来への古今東西の「未来の公園」の構想を作り上げるムン・キョンウォン(韓国)の「プロミス・パーク・プロジェクト」。昨年、YCAMで開催した国際グループ展「art and collective intelligence



ムン・キョンウォン「プロミス・パーク」(2013)

料金 | 無料

(アート・アンド・コレクティブインテリジェンス)にて制作、2つのスクリーンにプロジェクションされた映像作品として初めて公開されました。この度は、そのときの展示データをベースに、さらなるリサーチと考察を進めた結果を、技術のデモも含めて展示します。大きな災害が起こり、環境が変化した2070年の社会を舞台として、新たな環境条件の都市において、公園がどのような姿になりうるのか、また、なぜ人類は公園を必要とするのか。都市における公園の役割を考察することで、人類の文明への問いを投げかけます。

わたしはココに注目する!

現在、私たちの住む地球環境が大きくそして急速に変わっています。リサーチしたデータをもとにどんな未来が想像できるのか。身近にある「公園」の姿を通していまこの地球に何が起きているのかを考えます。

色づく アートで この秋、

また、中原中也記念館では、YCAMとコラボした企画展や映画上映、詩と音楽のセッションなど、開館20周年の記念事業で、中也と詩の世界を様々な角度から楽しむことができます。他にも、山口市民会館で催されるコンサートやパフォーマンスなど、あなたの気持ちをくすぐる刺激的な企画が盛りだくさん。鮮やかに色づいた味わい豊かなアート企画を、どうぞ堪能ください。

読書や美術鑑賞など、文学やアートへの関心がより深まるこの時期、YCAMでは、未来の公園の姿を提示するアート展示や、新進気鋭の劇作家×バンドによる音楽劇、図書館を舞台にした体験型の演劇公演など多彩な企画を準備しています。

チェルフィッチュ「地面と床」

2014年12月6日(土) 14:00開演

会場: スタジオA

演劇界をリードする 岡田利規の新作

演劇というメディアを身体、言葉から捉え直す革新的な試みが注目を集める劇作家・演出家、岡田利規。彼が主宰するカンパニー「チェルフィッチュ」は、その作品の多くがアジアやヨーロッパを巡演。国際的にも高い評価を受けています。そんなチェルフィッチュの最新作がこの冬、YCAMに登場。2011年の作品「現在地」でも音楽を担当した「サンガツ」とのコラボレーションによる音楽劇を上演します。舞台は、そう遠くはない未来の日本。人口が減少し、国は衰退、いまにも戦争が始まる気配を帯びている。地面の下で安らかに眠っていたいというけなしの望みを抱く死者と、生まれ出る者の命を守ろうとする生



チェルフィッチュ「地面と床」(2013) ©Misako Shimizu

者の利害が、近未来の不穏な日本を背景に対立する…。終演後には、サンガツのライブもスペシャルバージョンでお届けします。あわせてお楽しみください。

わたしはココに注目する!

関連企画として、チェルフィッチュ主宰の岡田利規+YCAM教育普及によるワークショップを開催します。

「地面と床」関連ワークショップ

2014年12月7日(日) 13:00～16:00(予定)

会場: スタジオA

【料金】500円 【対象】小学4年生以上 【定員】10名(要申込)

チケット情報 any会員先行予約 10月4日(土)～

一般発売 10月11日(土)～

料金 全席指定 前売 一般 3,500円 any会員・特別割引 3,000円 25歳以下 2,500円
当日 4,000円

- 特に記載のない場合、any会員割引は1会員2枚まで。
- 特別割引:シニア(65歳以上)、障がい者及び同行の介護者1名が対象。
- いずれの公演も当日券は各種割引の対象外となります。 ■特に記載のない場合、開場は開演の30分前です。
- いずれの公演も特に記載のない場合、未就学児入場不可。託児サービスについては、お問い合わせください。

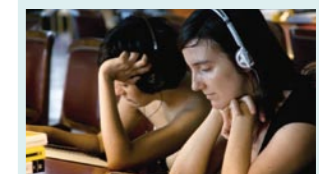
mini PICK UP!

アント・ハンブトン+ ティム・エッチェルス 「The Quiet Volume」

2014年12月1日(月)～14日(日)

※火曜休/上演時間:1時間/1日7ステージ
(ツアーの開始時間はお問い合わせください)

会場: 山口市立中央図書館



©Lorena Fernandez

現代演劇の改革者アント・ハンブトンとティム・エッチェルスによる、図書館を舞台にした体験型の演劇作品。観客は2人1組のペアになって、図書館の机に用意された本やノートに書かれた文字に導かれるかたちで、あるいはヘッドホンから聞こえるささやき声をヒントに、図書館の中をめぐるしていきます。作品を通じて、「読む」という経験を見つめ直します。

【チケット情報】

any会員先行予約 10月4日(土)～
一般発売 10月11日(土)～

【料金】

前売 シングル 800円 ペア 1,500円
当日 シングル 1,000円 ペア 1,800円

先行チケット 発売情報 早チケ 12月13日 発売!

劇団うりんこ「妥協点P」

2015年2月25日(水)・26日(木)

両日19:00開演

会場: 山口情報芸術センター
スタジオA



現役の中高生とワークショップを複数回重ねて作り上げた劇団うりんこの新作。作・演出を手掛けるのは劇団まごど主宰の柴幸男。—ある生徒が書いた学級劇の台本が物議をかます。そこから、他者と自分、現実と理想、今日と未来の、自分自身との、妥協点を探す旅が始まる。

【チケット情報】12月13日(土)～

【料金】全席自由

前売 一般 3,000円

any会員 2,500円

こどもステーション会員無料

当日 3,500円



ムン・キョンウォン「プロミス・パーク」



カンパニー・フィリップ・ジャンティ「忘れな草」©Claire Marie Leroux



中原中也記念館外観

中原中也記念館

http://www.chuyakan.jp/

中原中也記念館 開館20周年記念事業
YCAMコラボレーション企画

「中原中也 歩みのリズム—〈僕は街なぞ歩いてみました〉—」

2014年10月1日(水)～2015年1月25日(日)

歩き続けた詩人、中原中也

中原中也記念館開館20周年記念事業の一つとして、山口情報芸術センター(YCAM)とのコラボレーションにより、中也の詩の新しい楽しみ方を紹介します。中也は昼に起床し、深夜まで街中を歩き続け、帰宅したのち本を読んだり詩を書いたりしていました。日常生活の中で「歩行」「散歩」を重視した中也は、「歩み」をテーマにした作品を数多く生み出しています。本展では、中也の生活において特徴的であった「歩み」と、歩き続ける生活の中で宿った詩の「リズム」をテーマに、来館者が詩と身体の両方に向き合いながら、中也の詩の魅力を再発見できるような体験型の展示を行います。自分の体を通して中也の作品を味わうと、詩や、身体、そして街の見え方はどのように変わるのでしょうか？



原稿「春の消息」

わたしはココに注目する!

今回、YCAMディレクションで現代のミュージシャンが中也の詩を元にオリジナル曲を制作。会後半の11月26日から公開します。“ことば”という楽器を持った中也と、ミュージシャンたちによる時代を超えた共演にご注目ください。

入館料 一般 320円(270円)／大学生 210円(162円)／小中高生 160円(108円)
※70才以上は無料 ※()内は20人以上団体料金 ※あわせて常設テーマ展示もご覧いただけます。

中原中也記念館 開館20周年記念事業

映画で知る中原中也

2014年10月11日(土)～25日(土) ※週末のみ開催、イベントの時間はお問い合わせください。

会場：山口情報芸術センター スタジオC

映画と詩の意外な関係に迫る

YCAMシネマとの連携企画として、映画というメディアを通して浮かび上がる中也の詩の世界や詩人像、中也が生きた時代を、3週にわたって紹介します。第1週は映画作家・大林宣彦の最新作で、中也の詩が使われている「野のなななのか」、第2週は〈中也が



映画「野のなななのか」 ©2014 戸別映画製作委員会 / PSC

※料金は上映作品によって異なります。トーク参加費は無料。

観た映画PartI)として「カリガリ博士」「モロッコ」「新しき土」の3作、第3週は〈中也の観た映画PartII)として「丹下左膳 第1篇」と、中也の恋人であった長谷川泰子が晩年に出演した「眠れ蜜」というラインナップ。第1週には監督の大林宣彦とエグゼクティブ・プロデューサーの大林恭子を迎えトークイベントを開催。第3週にはYCAMシネマ担当と中原中也記念館学芸員のトークイベントも予定されており、映画と詩の間に通い合う芸術家の精神に迫る充実した内容になっています。

わたしはココに注目する!

映画「野のなななのか」では、詩集「山羊の歌」と、「夏の日の歌」をはじめとする中也の詩が重要な役割を果たしています。トークイベントでは、監督の大林宣彦さんと中也との意外なつながりについても話させていただきます。

●詩の言葉というものをどう考えたらいいのかを、英訳というアプローチから示していただき、とても勉強になりました。
(40代女性 「中原中也詩訳(ハネルディスカッション)より」)
●原稿も展示しており、印刷での理解だけでなく字筆の形でも理解することができて良いと思う。(10代女性 「中原中也と日本の詩」より)
●昭和っていい時代だったな。昭和に乾杯!そして料金以上に楽しい時間をくれた、とっても素敵な「なごみーず」に乾杯! (60代男性 「なごみーず」より)

山口市民会館

http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/

ディズニー・オン・クラシック ～まほうの夜の音楽会 2014

2014年10月24日(金) 19:00開演
会場：大ホール (18:00開場)

音楽と映像で 映画の感動がよみがえる

昨秋、初めての山口公演で多くの観客を魅了したディズニー・オン・クラシック。好評の声にこたえ、今年も開催します。今回は「Life Love Light」をテーマに、めぐりゆく生命、親子の愛や友情を描いた「ライオンキング」をはじめ、今年大ヒットした話題作「アナと雪の女王」などディズニーの名曲の数々が登場。心に語りかけるアニメーションや、NYブロードウェイで活躍する一流ボーカリストたちの歌声とフルオーケストラの演奏が、映画の感動・余韻とともに、本物の音楽と出逢える喜びを私たちに届けてくれます。第1回目からこのコンサートの指揮者を務めるブラッド・ケリー、日本最古の歴史と伝統を誇るオーケストラ、東京フィル



ステージ写真は過去の公演です

©Disney

ハーモニー交響楽団のメンバーで構成された“ネバーランド・オーケストラ”の息の合った演奏で、ディズニーの世界を堪能ください。

わたしはココに注目する!

今年一大ブームを巻き起こした「アナと雪の女王」をフルオーケストラの演奏で聴けるのはディズニー・オン・クラシックが初めて! 映画を観た感動が音楽と映像を通してよみがえることでしょう。今年の秋の思い出にぜひお出かけを。

チケット情報 発売中
料金 全席指定 前売 一般 S席 8,300円 / A席 6,700円
※any会員は一般料金より各500円引き(1会員4枚まで)

カンパニー・フィリップ・ジャンティ「忘れな草」

2014年11月11日(火) 18:30開演
会場：大ホール

魔法にかかりにいらっやい

紙や布、不思議な魅力をもった人形、ダンスやマイム、マジック…。鮮やかなトリックで観る者を欺く舞台の魔術師フィリップ・ジャンティが創り出すステージは、現実と非現実が混じり合う幻想的な空間へと私たちをいざないます。本拠地のフランスはもとより世界各国で作品が上演され、そのたびに多くのファンを獲得してきたフィリップ・ジャンティ。日本でも評価は高く、毎回上演を楽しみに待ちわびる大勢のファンがいます。待望の新作公演は、1993年日本初演の傑作「忘れな草」に、ジャンティが新たな息吹を吹き込んだ完全リニューアル版。巨大な冬景色の中、雪ソリに乗った



©Claire Marie Leroux

夢の配達人たちが集めているのは、死んでしまった「思い出のかげら」。やがてその思い出が目覚めるとき、一生忘れられない夢旅行がはじまる…。さあ、あなたも一緒に夢の世界へ出かけましょう。

わたしはココに注目する!

世界中にファンをもつカンパニー・フィリップ・ジャンティ。日本では、蛭川幸雄、宮本亜門、行定勲、古田新太、森山未來、松任谷由実など、各界のトップクリエイターたちがその独創的な世界に魅了され、絶賛の音が寄せられています。

チケット情報 発売中
料金 全席指定 前売 一般 S席 6,000円 / A席 5,000円 / B席 4,000円
25歳以下各半額 ※any会員は一般料金より各500円引き(1会員4枚まで)
※当日券は一般料金より各300円高

●特に記載のない場合、any会員割引は1会員2枚まで。
●いずれの公演も当日券は各種割引の対象外となります。 ●特に記載のない場合、開場は開演の30分前です。
●特に記載のない場合、未就学児入場不可。託児サービスについては、お問い合わせください。

検定 中 也

これであなたも中也通!!
Q 中也は色々な雑誌に詩を発表していますが、中でも一番多く作品を発表したのが雑誌「四季」でした。しかし、中也と「四季」の同人たちはお互い相容れない部分もあり、それが中也の個性を際立たせています。同人の三好達治の中也評を見ると、伝統的な季節感に沿い、形式的にも整えられた詩については高く評価しています。一方、新たな表現を探る詩には否定的で、中でも「四季」第11号に発表した中也の「夏の夜に覚めて見た夢」を酷評しています。それは、この作品がこれまで詩にあまり用いられてこなかった、あるスポーツを題材にしているためでもあるようです。さて、そのスポーツとはいったい何でしょうか?

- 1 サッカー
- 2 野球
- 3 テニス

答えは14ページ

中也を味わおう



10月22日は中原中也の命日。その命日を控えた10月19日(日)に「中也忌～墓前祭と中也に捧げる夕べ」を開催します。昨年に続き、2度目となるこの中也忌。18時から「中也に捧げる夕べ」では、好評だったSPレコードのコンサートに加え、今年はヴィオラ・ダ・ガンバなどの古楽器の生演奏もあります。中也はクラシックを愛好し、蓄音器でレコードを聴いたり、マサネの「エレジー」やバッハの「マッサカリア」などを好んで歌い、時に自作の詩を節にのせることもありました。今回のコンサートでは、これらの中也お気に入りの曲目も古楽器やSPレコードで演奏されます。ゆらめくキャンドルを眺めながら、中也を想う秋の夜をお過ごしください。

観た！聴いた！読み込んだ！の！

mini PICK UP!

STARDUST REVUE LIVE TOUR「SHOUT」

2014年11月22日(土)
18:00開演
会場：山口市民会館 大ホール



衰えることのない根強い人気で、30年以上もの長きにわたって日本の音楽シーンを牽引するスターダスト・レビュー。彼らが昨年の冬に続き、今年も山口にやってきます。観客を魅了する歌の数々と、笑いの絶えない楽しいトーク。いつものスタレビの熱いライブ・パフォーマンスとステージが私たちを待っています。パワフルなライブを、スタレビの名曲とともにたっぷりとお楽しみください。

[チケット情報] 発売中
[料金] 全席指定
前売 一般 6,700円
any会員 6,400円

先行チケット
発売情報
早チケ
any会員
先行予約
12月7日

東京都交響楽団 山口公演

2015年3月27日(金)
18:30開演
会場：山口市民会館 大ホール



©堀田力丸

2009年以来、6年ぶりとなる東京都交響楽団の山口公演が実現。いまや日本を代表する楽団といえる都響の演奏をじっくり味わってください。指揮者には井上道義を、ソリストにはこれからの活躍が期待されるピアニストの萩原麻未を迎え、グリーグのピアノ協奏曲イ短調や、チャイコフスキーの3大バレエ曲から選りすぐりの名曲をお贈りします。

[チケット発売]
any会員先行予約 12月7日(日)～
一般発売 12月20日(土)～
[料金] 全席指定
前売 一般 S席 6,000円 ほか
※any会員は各500円引き(1会員4枚まで)
※25歳以下割引あり

any通信

秋の夜空を見上げて下さい。美しい月がそこにあります。



出張ワークショップ みんなで竹楽器を作る!



竹林ボランティア山口の方に教わりながら竹楽器を制作している様子

アジアからやってきたアーティストと、山口で暮らす人々が共同で作る、新しい集落のような展示会「MEDIA/ART KITCHEN YAMAGUCHI—地域に潜るアジア:参加するオープン・ラボラトリー」。期間中は実に30を超えるイベントを開催。去る7月21日には、阿東地区の「阿東文庫」を会場に竹楽器制

作のワークショップが行われ、ものづくりを通して、幅広い世代や様々な技能を持った人々の交流が生まれました。竹は微妙な切口で音色が変わり、切り立ての竹は瑞々しく楽器作りに適さないなど、阿東地域の竹のエキスパートたちから加工の仕方を教わりながら、竹笛や竹の木琴などを制作。出来上がった手作り楽器を披露した後、参加者全員で簡単なミニライブを行い、セッションを楽しみました。

中也の詩が英訳されるとどうなる!?

中原中也記念館開館20周年記念事業の一つとして、去る7月13日、湯田温泉のホテル松政において、「中原中也詩英訳パネルディスカッション」を開催しました。出演者は伊藤比呂美さん、ジェフリー・アングルスさん、アーサー・ピナードさん、四元康祐さんの4名。会場には160名を超える方々にお越しいただ

きました。パネルディスカッションでは、「春の日の夕暮」「骨」「サーカス」の翻訳について討議した後、それぞれパネリスト自らが選んだ中也の詩の英訳を披露。「サーカス」のオノマトペをどう訳すかといった問題から、中也の詩に対する思いまで、4名の個性とユーモアあふれる話に、会場は大いに盛り上がりました。



パネルディスカッションの様子

ARTIST VOICE

アーティスト
ボイス

安藤洋子 (ダンサー・振付家)

コンテンポラリーダンスを牽引する一人、ウィリアム・フォーサイスに認められ、フォーサイス・カンパニーの中心的存在として世界の第一線で活躍するダンサー・振付家の安藤洋子さん。現在、YCAMスタッフや外部のプログラマーと一緒に、新しいダンス表現の創作に挑戦されています。山口の温泉とおいしい食事も楽しみに訪れているという安藤さん、YCAMはどんな場所ですか?

まるで天空の城ラピュタのような場所



photo: Dominik Mentzos

東京にも海外にもYCAMのような施設はありません。山に囲まれ、近くに温泉がわき出て、そんな自然に囲まれた環境にありながら、YCAMの中には情報があふれている。空も近いし、浮いているような感覚もあり、建物全体が生きている、まるで天空の城ラピュタのような場所。初めて訪れたとき、ここから何か発信していくことの可能性をすごく感じ

て、とにかく私も何か携わりたいと強く思ったのを覚えています。現在、若くて優秀なプログラマーたちと一緒に、RAMというダンサーのためのシステムを開発し、試行錯誤しているところです。ダンスをする上で身体が動きそのものになること、動きの神秘性を探求するために、身体を分析したり、動きを言語化するようなことをやってきました。その考え方が、プログラマーの思考と似ているのかもしれない。彼らとの共同作業はとても刺激的です。1月にはこれまでの成果を、ダンス作品として発表します。普通のダンス作品では意味がなく、その枠組みをも壊していくようなものをみなさんにお見せしたいと思っています。

RAMサマーキャンプ2014

2014年7月19日~21日

会場:山口情報芸術センター スタジオA



ダンサーの安藤洋子や国内外のプログラマーと進めている研究開発プロジェクト「Reactor for Awareness in Motion (RAM)」。

ここでは、YCAMが開発したモーションキャプチャシステムやツールキットを用いて、新しいダンス表現のクリエイションに挑戦している。この夏には3日間の集中ワークショップを開催し、全国からダンサーやプログラマーを募集。集まった参加者がチームを組んで、RAMシステムを使って何が出来るのか、様々なアイデアを発表してもらった。1月24日、25日には、研究の集大成としてダンスのショートピースを発表する。

安藤洋子 ANDO Yoko

1989年、舞踊家の木佐貫邦子に出会い、本格的にダンスを始める。2001年には、ウィリアム・フォーサイスに認められ、フランクフルトバレエ団に入団。05年以降、フォーサイス・カンパニーの中心的存在として世界の第一線で活躍。日本においても、自らの企画プロジェクトや外部カンパニーへのゲスト出演、振付など積極的に活動している。

お先に 試写し ました



©2014 芦別映画製作委員会 / PSC

「野のななののか」

(2014年/日本/171分/カラー)

【監督】大林宣彦 【出演】品川徹、常盤貴子、寺島咲、窪塚俊介、安達祐実、パスカルズ、芦別市のひとびと

10月のYCAMシネマは中原中也記念館20周年と連動した特集【映画で知る中原中也】を開催します。偶然にも、今年、中也の詩をとっても重要な要素として組み込んだ映画が公開されました。『羊の歌』の「I 祈り」の断章から映画が始まる「野のななののか」は、御年76歳の大林宣彦監督の、いまなお若々しい魅力に溢れた作品です。

舞台は北海道・芦別。風変わりな古物商、鈴木光男(品川徹)が亡くなることから物語はスタートします。葬式の準備のために散り散りに暮らしていた鈴木家の面々が古里・芦別に集まり、それぞれの視点と記憶が絡まり合いながら、光男の物語が回想されていきます。

「野のななののか」はとっても自由な映画です。第二次大戦中から現在にいたるまでのあらゆる時代が縦横無尽に展開され、モザイク状に光男の歩んだ歴史が浮かび上がってきます。生きている人間だけでなく死者も混在しながら、非常に多くの登場人物がスクリーンに現れるのは、量み掛けるような台詞が発せられます。そして映画のいちばん重要な要素として、中也の詩がしばしば登場します。

「僕の青春は、中原中也と共に在った」と語る大林宣彦監督が、10月12日にご登壇され、ご夫人でプロデューサーの大林恭子氏と上映後トークイベントを行います。この秋、中也の詩と出会ってください。

杉原永純 (YCAMシネマ担当)

2014年10月11日(土) 13:30~ / 17:00~
12日(日) 13:30~
13日(月・祝) 13:30~ / 17:00~
※10/12は上映後、大林監督によるトークイベントあり
会場:山口情報芸術センター スタジオC

【料金】一般 1,300円
any会員・特別割引・25歳以下 800円
※特別割引:シニア(65歳以上)と障がい者及び同行の介護者1名が対象。



©2014 芦別映画製作委員会 / PSC

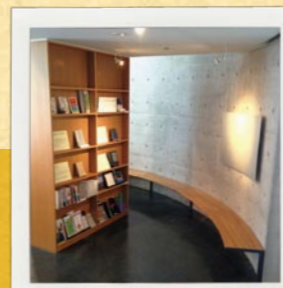
「野のななののか」作品紹介

映像の魔術師・大林宣彦監督最新作。ある男の戦争体験を通して、現代の日本再生の正しき道を示そうとする人間ドラマ。冬の北海道芦別市で風変わりな古物商を営む老人が臨終を迎える。散り散りに暮らしていた家族が集まるなか、謎の女が現れ彼の過去を明らかにしてゆく。

My Favorite

1階奥の中也記念室。大きな本棚に中也の詩集や中也に関する本がたくさん並んでおり、ベンチやイスもあるので読書休憩コーナーとして活用されています。展示順路のちょうど中間地点にあるので、ちょっと足を休めるにはぴったりの場所です。中也の詩に浸るもよし、何もせずにぼーっとするもよし、思い思いの時間をお過ごしください。

中崎真子 (中原中也記念館 職員)



中崎真子

いらっしませ



ランチメニュー

(サラダ・スープ・パン付)

1,080円 ※ネットコーヒーは、プラス216円

絶品イタリアン・ランチをYCAMで。

アンコーラがYCAMに戻ってきた!! ということで、さっそくランチへ。パスタかピザのランチ…、悩むけど今日はピザだ! むむ、3種類のメニューから選ぶのね、また悩む…。シェフお薦めは甘海老とかぼちゃのピザですって。秋からどんどん甘くなっていくかぼちゃは確かに良さそう! ではさっそく。おお! かぼちゃがとろっとして、想像以上に甘い! チーズの塩加減とのバランスが絶妙。ぷりっとした食感にうま味がつまった甘海老、ピザ生地のふわっとパリッとした食感、すべてがベストマッチ! 野菜たっぷりのサラダに、スープと自家製パンまでついて、お腹いっぱい。明るい店員さんの笑顔からも元気をいただきました。

トラットリア・アンコーラ

山口市中国町7-7 TEL.083-925-6171

営業期間:11:00~18:00

休業日:火曜(祝日の場合はその翌日)

※any会員の方は会員証提示で10%割引。

GOOD GOODS

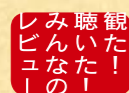


YCAMオリジナルTシャツ

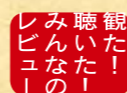
大人気ゆるキャラ!? もぐらTシャツ

YCAMで7月5日から9月28日まで開催していた企画展「MEDIA/ART KITCHEN YAMAGUCHI—地域に潜るアジア:参加するオープン・ラボラトリー」。タイトルにある「地域にもぐる」から発展して、もぐる動物=「もぐら」が、展示会のマスコットキャラクターとして登場。会期中、もぐらTシャツを着た展示会ナビゲーターたちが、来場のお客様をご案内していました。当初はスタッフ限定のTシャツでしたが、「かわいい」「欲しい」という声がたくさん聞こえてきたことから、途中からグッズとして販売することに。在庫が無くなり次第販売終了しますが、いままら購入できます!

価格:各2,000円(税込)
サイズ:S/M/L/XL
カラー:ロウホワイト



●「サーカス」の「ゆあーん」の飾りがすばらしい。作品のイメージがようやく心から感じられました。(40代女性 「中原中也と日本の詩」より)
●主人公が太田裕美さんの大ファンで若い頃からよく聴いていました。コンサートは3回目ですが、やはり生で聴くと迫力も違うし、歌の息づかい、表情…とてもすばらしい!(60代女性 「なごみず」より)
●谷川俊太郎さんの書き下ろしの詩が貴重で、感激しました。(20代女性 「中原中也と日本の詩」より)



●こういった実験的な即興音楽を全館で演奏されたのが良く、また様々なことをやっていただきたいです。(20代男性 「sound tectonics#14」より)
●予想以上に感動した。最後はいい余韻を残してホールを出ました。ありがとうございました。(50代男性 「なごみず」より)
●中也の詩がそれぞれのパネリストによって様々な英訳されているのがとても興味深い。(50代男性 「中原中也詩英訳パネルディスカッション」より)
●好奇心、探究心さえあれば、他愛のない物でさえ新しい音色を作ることが可能なことを教えられます。(男性 「sound tectonics#14」より)

10 October

11 November

12 December

掲載内容は2014年9月1日現在のものです。変更場合がありますので、ご了承ください。

山口情報芸術センター (YCAM)

http://www.ycam.jp/

※年末年始のお休み12/29~1/3

◎シネマ
毎週金曜日の夜に【金曜夜のYCAMシネクラブ】を開催しています(※11/28、12/26はお休み)。上映作品は、webや「YCAMシネマプログラム」をご覧ください。

アート

シアター

シネマ

4 5

「シンプル・シモン」「365日のシンプルライフ」

18

特集「甦ったフィルムたち」 特集「映画の南米」

1

ムン・キョンウォン
「プロミス・パーク・プロジェクト」(本誌P9参照)

8 9

オフィス300公演
「天使猫
一宮澤賢治の生き方」
(本誌P2~7参照)

1 3

8 9

15 16

特集「映画の南米」

22 24

ジャック・タチ 映画祭

29 30

「親密さ」

1 3

アント・ハンブトン+ティム・エッチェルス
「The Quiet Volume」(本誌P9参照)

6

チェルフィッチュ「地面と床」
※12/7 関連ワークショップあり(本誌P9参照)

6 7

「郊遊
(ピクニック)」

13 14

特集「MoMa映画コレクション」

19 21

23

山口市民会館

http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/

※年末年始のお休み12/29~1/3

24

ディズニー・オン・クラシック
～まぼうの夜の音楽会 2014(本誌P11参照)

11

カンパニー・フィリップ・ジャンティ
「忘れな草」(本誌P11参照)

22

STARDUST REVUE LIVE TOUR「SHOUT」
(本誌P11参照)

中原中也記念館

http://www.chuyakan.jp/

※年末年始のお休み12/29~1/3

開催中

第11回常設テーマ展示「中也 愛の詩ーいとし者へ」

1

YCAMコラボレーション企画「中原中也 歩みのリズムー(僕は街なぞ歩いてみました)」(本誌P10参照)

4

Poetry Session 会場:RAGTIME

26

Poetry Session Final

11 13

映画で知る中原中也(本誌P10、13参照)

17 19

映画で知る中原中也(本誌P10、13参照) 会場:山口情報芸術センター

24 25

中原中也を読む会
会場:湯田地域交流センター

19

中也忌～墓前祭と中也に捧げる夕べ
(本誌P10参照)

24

中原中也を読む会
会場:湯田地域交流センター

28

中原中也を読む会

26

中原中也を読む会
会場:山口情報芸術センター

【マーク説明】



体験する



参加する



聴く



観る

INFORMATION

■公演チケットのお求めについて

山口市文化振興財団が主催・共催する公演チケットは以下の方法にてご予約・ご購入ください。

予約方法

インターネット 山口市文化振興財団ホームページ (要事前登録・24時間受付)

<http://www.ycfcp.or.jp/>

※any会員の方は先行予約初日の10:00より、一般の方はプレイガイド発売日の10:00より受付開始。



電話

チケットインフォメーション (10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

TEL. 083-920-6111

窓口

チケットインフォメーション (10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

山口情報芸術センター

※先行予約初日はインターネットまたはお電話のみの受付となり、窓口のご利用は翌日からとなります。

支払方法

クレジットカード インターネット・電話でチケット予約された際に利用いただけます。

チケットのお受け取りはお近くのセブンイレブンまたは山口情報芸術センターにお越しください。

セブンイレブン

インターネット・電話でチケット予約された際に利用いただけます。

お近くのセブンイレブンでお支払いいただけます。チケットはその場でお受け取りください。

窓口

※上記予約方法「窓口」参照

■託児サービスについて

山口市文化振興財団では託児サービスを行っています。

※おもちゃ、おむつ、着替え等必要なものはご持参ください。お子様の食事は事前に済ませておいてください。

公演開催時

[対象] 0才(6ヶ月)以上

[料金] 1人につき500円、
2人目以降は1人につき300円

[時間] 開演の30分前から終演後30分まで

[申込方法] 公演日の1週間前までに左記チケットインフォメーションまたは山口情報芸術センターにてお申し込みください。

※公演によっては行わない場合もございます。事前にお問い合わせください。

山口情報芸術センター キッズスペース

[対象] 1才以上

[料金] 1人につき30分150円

[時間] 13:00~17:00 1回2時間まで
(山口市立中央図書館休館日を除く)

[申込方法] 当日、山口情報芸術センターにてお申し込みください。満員の際は順番制となります。

any 会員募集!

※入会方法等、詳しくはお問い合わせください。

any会員は、山口情報芸術センターや山口市民会館などで行われる財団主催・共催の公演や展示、ワークショップ等の情報をいち早くお知らせし、楽しんでいただくための友の会です。公演のチケットが一般の方よりも安く、早く購入できるなどの特典があります。

[年会費] 1,500円+入会金500円 ※会員期間内に更新される場合、入会金は不要です。

[会員期間] 入会日から翌年の入会月末まで

[会員特典] チケットの先行予約および割引購入(公演によっては適用されないものもあります)、情報誌の無料送付、YCAMシネマ・中原中也記念館招待券プレゼントなど



公益財団法人

山口市文化振興財団

Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

〒753-0075 山口市中園町7-7(山口情報芸術センター内)
TEL. 083-901-2222 / FAX. 083-901-2216
http://www.ycfcp.or.jp/ zaidan-info@ycfcp.or.jp

編集後記

特集のため、渡辺えりさんにお会いしました。圧倒的な存在感と演劇にかける熱い思いは想像以上でした!! えりさんの思いが凝縮した舞台「天使猫」。本当にたくさんの方に観ていただきたい作品です。[M.D] 食欲の秋、到来。昨年は部署内の懇親会を兼ねて、梨狩りに行きました。一番おいしそうな梨を! と吟味して取った2個でお腹いっぱい。梨を使ったおもしろ写真も撮れました。今年も行きたいな。[T.I]

A 中原中也記念館

〒753-0056 山口市湯田温泉1-11-21
TEL. 083-932-6430 / FAX. 083-932-6431
[開館時間] 9:00~18:00(入館は17:30まで) [5~10月]
9:00~17:00(入館は16:30まで) [11~4月]
[休館日] 月曜(祝祭日の場合は翌日)、毎月最終火曜(変更あり)、年末年始
http://www.chuyakan.jp/ chuyakan@c-able.ne.jp

B 山口情報芸術センター(YCAM)

〒753-0075 山口市中園町7-7
TEL. 083-901-2222 / FAX. 083-901-2216
[開館時間] 10:00~20:00(夜間イベントのある日は22:00まで)
[休館日] 火曜(祝祭日の場合は翌日)、年末年始
http://www.ycam.jp/ information@ycam.jp

C 山口市民会館

〒753-0074 山口市中央2-5-1
TEL. 083-923-1000 / FAX. 083-928-8488
[開館時間] 8:30~17:15 [休館日] 年末年始
http://www.c-able.ne.jp/~shiminkk/ shiminkk@c-able.ne.jp



検定 中 野球

A. 野球 (中野球は野球に関心を示し、毎年、夏の甲子園の中継をラジオで聴くのを楽しみにしていました。)



観 読 聴 今 年 読 みたい 本 1 の ！
◎現在もなお、色々なアーティストに影響を与えているということがよく分った。いまの歳になって中也の詩を読むと、一味も二味も違って良かった。(30代女性 「中原中也と日本の詩」より)
◎日本語のニュアンスを英語で表現する難しさが4人のディスカッションを通してよく分かりました。(20代女性 「中原中也詩英訳パネルディスカッション」より)
◎色々な日本の詩人、特に宮沢賢治と草野心平、萩原朔太郎などの文章や筆跡を見ることができて楽しかった。(40代女性 「中原中也と日本の詩」より)



公益財団法人
山口市文化振興財団
Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

